



学校便り

飛翔天中

令和2年5月29日号

校訓 立志・誠実・不屈
天城町立天城中学校

TEL 85-2281
NO. 6

～明日も行きたい学校 会いたい友達や先生 受けたい授業～



限りある夢



校長 副田 明彦

臨時休業が明けて、18日経ちました。ようやく入学式から積算して1ヶ月です。1年生は、中学校生活に慣れてきたところでしょうか。25日に全国に出されていた緊急事態宣言が解除となり、良くも悪くも普通の日常が戻ってきつつあります。学校としては、引き続き気を引き締めて対応して参ります。

ところで、先日、史上初めて高校野球の春・夏どちらの大会も中止になるということがありました。夢の甲子園が春に続いて夏の大会も中止。青春をかけて練習に取り組んできた全国の球児たちは、大きなショックを受けています。春夏合わせて3度の甲子園出場の松山聖陵高校。荷川取秀明監督「無観客でもという気持ちあったけど、今の流れを考えると厳しい。くやしいと思うが全国どこの高校球児も本当に思いは一つ」岸田明翔主将は「ちょっとずつ覚悟はしていたが、まさかこの様な報告をされると、自分の気持ちの整理できなくて、昔から夢だった甲子園がなくなってしまうと立ち直れない部分がある。でも誰の責任でもないで、高校生活で学んだことを次のステージで活かしたい」と、無念の気持ちをのぞかせながら語っていました。



集団登校

我が大島地区でも26日に地区中体連大会が中止になりました。全国・九州と来て県大会も中止となり、最後の地区大会に一縷の望みをかけていたのですが潰れてしまいました。第一報を聞いたとき、生徒のことを、そして今までの努力のことを思うと心が痛むというか残念な気持ちで胸がいっぱいになりました。

高校球児の夢さえも、そして中体連の大会を目標に頑張ってきた今年最後の3年生の夢さえも奪ってしまった新型コロナウイルス。選手や監督たちの落胆は計り知れません。

夢には、限りがないものと限りあるものの2種類があると思います。限りある夢、それは、高校生の時だけしかチャレンジできない夢だったり、中体連の大会も3年生の夏だけの夢だったりするわけです。

昨夏、岡山県代表として甲子園に出場した岡山学芸館高校（岡山市）の佐藤貴博監督は、3年生に「今日だけは泣いてもいい」とも呼びかけ、その後、記者団に「今までやってきたことは間違いではない。これも運命。受け入れて大きく成長していくはずですよ」と言いました。その言葉に目をうるませる選手の姿がありました。ミーティング終了後、オンラインで取材に応じた竹下夏葵（なつき）主将は「甲子園はなくなったが自分たちの野球人生は続いていく。人生の糧にできるよう、悔しさを生かせるようにできたらと思う」と気丈に答えているのが印象的でした。春のセンバツ出場が決まっていた鳥取城北高校（鳥取市）の吉田貫汰（かんた）主将は「絶対日本一を取るという気持ちでやってきた。残念」としながら、涙をこぼして「人として学んだことは社会に出てもつながる。それを生かしていきたい」と前を向いていました。

今週は、3年生の上級学校説明会を実施しました。本来なら、2年生は修学旅行・1年生は集団宿泊学習の予定でしたが、秋に延期になりました。学びの過程が大切だと思います。限りない夢の実現に向かって取り組んでいますが、その途中にある限りある夢も着実に実現を図ってスモールステップで着実に上を目指していきたいものです。できるなら、このような無念なことがないことを心から本気で祈りながら・・・。

上級学校説明会

27日（水）と28日（木）に3年生を対象として上級学校説明会が行われました。

2日間で計8校（鹿高・神村・鹿情報・徳高・鹿実・樟南第二・鳳凰・育英館）の説明があり、学校や学科の特色などを分かりやすく説明してくださいました。

高校の先生の話が直接聞ける貴重な機会となり、生徒も真剣な表情で説明を聞いていました。



6月の主な日程

6月	1日（月）	教育実習開始（～26日）
	2日（火）	全校朝会
	3日（水）	1年薬物乱用防止教室
	9日（火）	移動図書館
	13日（土）	学級弁論大会
	15日（月）	耳鼻科検診
	17日（水）	健康安全学習（ハブ教室）
	18日（木）	2, 3年薬物乱用防止教室
	19日（金）	O.S.O.S運動
	23日（火）	グリーンタイム
	24日（水）	期末テスト（～25日）
	25日（木）	夢と希望を育む教育講演会

マスク寄贈、ありがとうございます。

- 天城町在住「あしながおじさん」から
- 徳之島建設業協会 から
- ショップかんだ 神田浩生さんから



本校生徒の4月の平均家庭学習時間 83.9分